



新しい年を迎えて

三篠地区社会福祉協議会

会長 水戸川 旭

新年あけましておめでとうございます。平素は三篠地区社会福祉協議会の実施する事業及び活動にご理解ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度は、2つの行事を簡単にご紹介します。

昨年11月3日(日)、西区民まつりが、広島サンプラザ及び周辺広場をメイン会場に開催されました。会場では福祉活動に取り組む各種団体が、約50か所のブースで様々な催しを実施し、多くの来場者でにぎわいました。体育館では、恒例の福引やカープ2選手による餅まきもあり、来場者は大喜びでした。皆さん、今年は参加して、西区民まつりを体験してみませんか！

また自然災害に備え、12月8日(日)「指定避難所運営訓練」を実施しました。大規模災害が発生したという想定での、防災訓練です。早朝8時、広島市長から「大規模災害発生のため、住民は、速やかに三篠小学校体育館に避難せよ」という命令が出され、9時までは、体育館は各町内からの避難者で溢れました。

体育館では、居住空間仕切り・簡易ベッド組み立て、けが人救助などの運営訓練、運動場では、煙体験車、地震体験車などの実体験ができる防災フェア、備蓄食の試食など、秋晴れの日曜日でした。

終わりに「みんなで支え合う三篠」の更なる進化を目指し、地域の皆様のご健康と実りの多い充実した一年になりますことを、心から祈念申し上げます。

すべてに感謝！

防止の街頭キャンペーンの実施、幟旗を立てての「機関誌 防犯ひろしま」の配布等で、PRしています。また座学として、広島西警察署から講師をお招きし、交通防犯部員と地域安全推進委員との合同交流講習会を実施し、参加者45名が、交通防犯について、熱心に講習しました。

昨今、予想もできない様々な事故・事件も発生しています。各町内会では、防犯対策が注意喚起され、実施されていますが、各人が「防犯・交通・安全」について確認し合い、「安全安心な最高のまち三篠」のまちづくりを目指したいものです。

赤い羽根共同募金街頭募金活動

福祉推進委員 久保田 守

平成21年度から毎年、中広中学校生徒有志のご協力と三篠地区民生委員児童委員、同社会福祉協議会役員一丸となって、横川駅前広場を中心に、年度末の赤い羽根共同募金活動を行っています。

今年度も、生徒の皆さんの共同募金に対する熱心な声掛け・取り組みは、ご通行中の皆様から大変注目を浴び、善意の募金が集まりました。



中広中生徒さんと街頭募金の呼びかけ



交通防犯部の目指す「みささのまちづくり」

副部長 田頭 暉夫

我が部は年6回開催の部会合で活動方針を検討、行動しています。「春、秋の全国交通安全運動」「年末交通事故防止」「地域防犯活動」では、三篠地区の皆様にご協力いただけるため、部会員が街頭に立ち、横川駅前での交通安全チラシの手渡し配布、交通安全・事故



地域の方々から学ぶ

広島市立三篠小学校

校長 岡崎 美佐子

三篠小学校は、本年度、児童数767名、27学級でスタートしました。全国的に児童数は減少傾向にある中、本校は毎年少しずつ児童数が増加しております。これはひとえに三篠地区社会福祉協議会の皆様やこの

地区にお住まいの方々の街づくりにかける熱い思い、また、活気のある人々の交流のある住みやすい街づくりの成果と感謝しております。

本校では、1・2年生の生活科、3～6年生の総合的な学習の時間に、ゲストティーチャーとして地域の方にご来校いただいたり、地域の様々な施設を訪問したりして、学習を進めています。

1年生は昔遊びの会で、けん玉やお手玉などの指導。2年生は町探検で、三篠の地域にあるたくさんのお店を訪問し、地域の活性化のために商店街の方が努力されていることの学習。3年生は福祉の学習の中で、育成会の方々と年間を通して交流。4年生は太田川やゴミ問題、環境問題について学習。5年生は平和学習で三滝寺や三篠神社などを訪ね、被爆当時から復興の様子を学習。6年生は三篠・横川の歴史や地域の方々の街づくりへの熱い思いを聞き、ふるさと「三篠」を愛する心の芽生え等々、子どもたちは地域の方々から地域のことを教えていただき、学習を深めています。



中広中学校区ふれあい活動

広島市立中広中学校

校長 野澤 久美

広島市では、全ての中学校区で、子どもの豊かな心の育成に向けて、家庭・学校・地域が連携し、ボランティアや体験活動などを行う、「ふれあい活動事業」を展開しています。

中広中学校区でのふれあい活動の中心は、ふれあい標語づくりとふれあい交流会です。

ふれあい標語は、大人と子どもの心が通い合う、温かい地域社会づくりをめざして、平成29年度から始めた取組です。今年度は、「令和の時代に大切にしたいこと」をテーマに、中広中学校区内4校の子どもたちに標語を募集し、たくさん応募された作品の中から、次の4作品が最優秀作品に選ばれました。

思いやる 心で作ろう あふれる安心

あいさつで 明るい時代 笑顔の町

れいぎ正しく いきいきとわらいのたえない 三ささの子
令和の「和」 手と手をつなぐ 平和の「和」

近く、横断幕が、各校・公民館に掲示されます。

ふれあい交流会は、10月末に開催される4校の子どもたちによる文化的行事です。今年度は、三篠小学校合唱部が美しいハーモニーを、広瀬小学校4年生が楽しいクリスマスメドレーを、大芝小



3小学校・中広中 合同ふれあい交流会

学校吹奏楽部が素敵な演奏を、中広中学校吹奏楽部が力強い演奏を披露してくれました。交流会の最後は、毎年、合同演奏(合唱)「Believe」で、交流会の幕が閉じられます。

標語づくりも交流会も、子どもたちにとっては、日頃の学習や練習の成果を発表できる貴重な学びの場です。地域の方にも「子どもたちの活躍する姿に、元気や感動をもらえ、地域の交流の大切さを改めて感じる、素敵な活動ですね。」と褒めていただいています。

三篠公民館まつり開催のお礼

三篠公民館長 熊田 一雄

昨年11月9日(土)、10日(日)の2日間にわたり開催した「第37回三篠公民館まつり」では、当公民館を活動拠点とする各グループのステージ発表や作品展示などに大変多くの皆様がご来場くださいました。

開催にあたりましては、子ども会をはじめとする地域団体の皆様や中広中学校生徒のボランティアなど多くの方々のご協力をいただき、活気に満ちて賑わいのある祭りとなりました。

以下、公民館学習グループの当日発表を紹介します。**「こんにちは コーラス あおぎり です」**

毎月第1・3月曜日に活動しているコーラスグループです。平成27年、被爆70周年の節目にあたり、「自分たちに何かできることはないか、自分たちも歌で平和を訴えかけたい。」との思いから公民館を活動拠点に参加者を募集。平和を願うロビーコンサートの開催を目標に練習を重ね、発表後も参加者を中心に、コーラス「あおぎり」が結成されました。

榎本純子先生のご指導の下、現在25名の会員で、楽しく練習し、昨年は「横川ふしぎ市」「横川駅高架下リニューアルオープンイベント」「平和を願うロビーコンサート」など、地域のイベントで学習成果を発表しています。



あおぎりの発表会 合唱

歌うことがお好きな方、地域でお友達を見つけない方、ぜひ一緒に活動しませんか?会員一同、三篠公民館で、お待ちしております。

「三滝歴史学習会」

三滝地区の歴史を学び、知識をさらに深めることを目的に、西区役所、三滝少年自然の家及び三篠公民館の協力のもと、三滝地区のガイドボランティアとして、西区役所や三篠公民館が行う事業に参加しています。また、依頼があれば、ボランティアガイドも引き受けています。

三篠公民館まつりでは、毎年テーマを決めて、展

示発表を行っています。今年度は、三瀧寺の「十六羅漢」を取り上げ、写真とともに展示しました。

羅漢は正しくは阿羅漢といい、阿羅漢は梵語のアルハット(Arhat)の音訳です。阿羅漢は「一切の煩惱を断尽して尽智を得、世人の供養を受くるに適当な聖者をいう」(『望月佛教大辞典』)といわれています。つまり、「完全に悟りを開いた功德のそなわった最上の仏教修行者」(『日本石仏事典』)であり、悟りを開いた仏弟子たちの尊称なのです。中国や日本では、この仏弟子たち以外にも、高徳な仏道修行者たちを阿羅漢に含めています。(出典：歴史ガイドブックみたき／発行：広島市西区役所)



三瀧寺の「十六羅漢」展示発表

三篠公民館では、春と秋に「三滝歴史散策会」を実施しています。ぜひご参加ください。

「アンジュヴィオレ広島」について

事務局長 三谷 光司

横川三篠地区の市民球団として、2012年に発足した女子サッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」は、2020年シーズン参戦で、9年目を迎えることができます。現在、なでしこリーグ3部の「チャレンジリーグ」に属していますが、今シーズンこそ「なでしこリーグ2部」復帰を目指し、選手・スタッフ一同ワンチームで精進してまいる所存です。

今年以降、広島は、毎年女子サッカーによる盛り上がり期待される、話題が続きます。

2020年東京オリンピックでの活躍

2021年女子サッカープロリーグの設立と日本サッカー協会設立100周年

2023年女子サッカーワールドカップ開催に日本が立候補(来年には開催国が発表になります！)

2024年中央公園にサッカー専用球場開業(予定)

皆さまのお陰で、今までの8年間、牛歩の歩みではありますが、チームとして認知され、組織や環境整備も少しずつ充実したこと、感謝しています。

今年4月初旬にリーグ開幕します。試合会場にお越し頂き、皆さまのご声援をお願いいたします。



平成31年度 三篠社協新年互例会でのご挨拶



みんなで唄う会

老人福祉部長 向井 進

部会では、三篠学区全体から、お年寄りが気軽に参加いただける行事として、数度の企画会議を経て、歌の集いの提案が出されました。

紆余曲折を経て、遂に昨年11月、三篠公民館で、三篠社協老人福祉部・三篠公民館共催で、「みんなで唄う会」を開催することができました。

各町のいきいきサロンで実際に活動されている活動内容や実情から、下記4グループの交流会です。

横川町二丁目カラオケ会・楠木町一丁目楠唱会・三滝本町一・二丁目楽しく歌う会・三篠社協・公民館共催のみささ元気アップのれん、に加え、一般の方もご参加頂き100名を超える盛況でした。

前半は各グループの持ち歌二曲ずつを参加者全員で唱和し、休憩と茶話会を挟み、藤間流 藤間宏幸香様の日本舞踊の御披露をして頂きました。

後半は、各グループから一曲を唱和し、最後に「ボケない小唄・ボケます小唄(お座敷小唄の替え歌)」を川野義明様のハーモニカ伴奏に合わせて、全員が楽しく・愉快地合唱しました。

今日、百歳時代と囁かれています。ご参加の皆様が健康に留意し、日々の生活を楽しく、潤いのある暮らしを願って、この会をお開きとしました。



交流会での100名余の大合唱

町内会会長になって

横川新町町内会長 森川 豊

町内会長を引き受けて既に1年が経過しようとしています。これまで40数年間、町内会の運営、特に町内会行事、トンド、盆をどり、秋まつり、亥の子まつりなどでは率先して参加し協力してきましたが、いざ会長職という冠をいただくと、責任が重くのしかかり、勉強の毎日です。

最近、町内にマンションが増え、少子高齢化が進む中でも、子どもが増え、元気な遊び声が横川第一公園内に響いています。わが町が子どもの多い、活力あふれる町に戻りつつあるなど、嬉しく感じます。

私の子どもが町内会行事に参加した頃は、秋まつり

の神輿は2台で練り歩いていたことを思い出します。子どもは私たちの宝です。大切に見守っていきたくと思っています。



わが町 打越町

打越町町内会長 沖田 晴信

私の生まれ育った打越町！の町内会長を引き受けて、約2年の歳月が経とうとしています。地域社会への恩返しのもりだったのですが、町予算の策定、各種行事の企画・運営、回覧板の準備とその回覧、各種募金活動、葬祭、苦情受付とその対処、さらには公的機関への相談等々、思っていた以上に迅速且つ即決業務の毎日です。

町内会全体の行事で、初めてBBQを昨年9月に打越公園で実施し、85(大人57、子ども28)名の参加者が、役割を分担して取り組みました。参加者お互いが顔見知りになり、子どもたちはお土産をもらい大喜び、大盛況の楽しい親睦会でした。

ところで、昨年秋、三篠小学校南側敷地に、地域のみんなで、花壇を作りました。小学校と公民館の間の道路を通行される皆様の和(なごみ)の場になればうれしく思います。

太田川放水路完成のおかげで、最近大きな水害はありませんが、いざ災害というときに備え、防災対策に取り組み、地域の皆様との交流を深め、安全で暮らしやすいまちづくりを目指して、町内会活動に取り組みたいと願っております。



▲手作り花壇で心が和みます！



▶みんなで三篠小学校南側花壇の整備

町内会活動と私

三滝観音台町内会長 太田 博文

町内会への関わりは、子供会の行事参加から始まり、青壮年部長就任で三篠体協の方々とも懇意になり、町内会長に就任しても、三篠社協会合にも違和感

なく溶け込めることができました。

町内の行事は、夏祭りでは、広島ラテンバンドによる生バンド演奏を聴きながら、焼肉！釣り堀で釣り上げたアユの塩焼き！とんど祭りでの焼きそばは調理即スピード完売する大人気商品に！昨年のご長寿祝いに70歳以上の方に、郡上八幡産のアユを塩焼きし、生ビールを付けてプレゼントしました。

『亥の子まつり』では、祭祀のお供えの作法に則り、紙垂(シデ)を柵に取り付け参加者全員で玉串奉納。三篠神社野上宮司さんに祭祀の作法を伝授していただいた子どもたちも、神妙に玉串奉納の後『二礼、二拍手、一礼』しました。神事後、町内を廻りながら「亥の子、亥の子、亥の子餅突いて、繁昌せい、繁昌せい」と町内の邪気を追い出し、町内繁栄を願いました。続いて餅つき。4臼の内2臼を親子で挑戦してもらい、杵の持ち方、足の位置・・こうした伝統行事が事故なく受け継がれることを願って伝授しました。



亥の子祭りの神事

感事(ことにかんず)

中広町3丁目町内会長 山田利英子

全く自信のないまま、勝部会長から会長職を引き継ぎ、4名の副会長・事務局長・役員等優秀なスタッフに支えられ、3年目となります。

会長は町内会独自の環境に慣れることが肝要と考え、地域の伝統的行事の催行は勿論のこと、中広中・三篠小での運動会やふれあいコンサート、三篠学区町民大運動会等に率先して参加してきました。

現在町内会は、高齢化が進み、町内会役員・民生委員等の町内会世話役を希望される住民が少ないのが現状で、町内会長の頭痛の種でもあります。また、若い世代の住民は、自分自身の仕事や家庭サービス等でゆとりが少ないためか、町内会入会者は以前ほど多くはありません。こうした日本の社会現象ともされる、核家族化・少子高齢化等、他の町内会同様の地域課題を抱えながらも、町民みんな楽しく集い、笑いの絶えない「地域づくり」を目標に精進したいと思います。

編集後記

今号は多くの皆様から投稿いただき、紙面が不足するうれしい悲鳴です。投稿文は内容の趣旨に合うよう多少編集させていただきました。また役員一覧表は、新年互例会に配布しますので、割愛させていただきました。今後も皆様方の貴重なご意見・寄稿をお待ちします。

(広報部長 三好 康之)

